

SWG Chromebook Clientの既知の問題と制限事項について

内容

[はじめに](#)
[既知の問題と制限事項](#)

はじめに

このドキュメントでは、SWG Chromebookクライアントの既知の問題と制限事項について説明します。

既知の問題と制限事項

Linux、Android、Chromeアプリケーション	UCC-SWGは、Chromeブラウザ内でのみフィルタリングを提供します。Android、Linux、Chromeのアプリケーショントラフィックはフィルタリングされません。
Incognitoモード	Chrome拡張機能はincognitoモードではデフォルトで有効にされておらず、フィルタリングは無効になっています。 これを軽減するために、Google管理コンソールの設定ではincognitoモードが許可されない場合があります。 詳細については、Googleのドキュメントを参照してください。
DNS 設定	(オプション) Chromebook DNSトラフィックをUmbrella DNSリゾルバに送信することを推奨します。 DNSにUmbrellaを使用すると、最も近いUmbrella SWGデータセンターの検出精度が向上します。 DNSサーバのオンプレミスネットワークは、DNSトラフィックをCisco Umbrellaに転送する必要があります。
時刻の同期	Chrome OSでプロキシを認証するには、Chrome OSの日付と時刻が正確である必要があります。 タイムゾーンを自動的に同期するようにChromebookを設定することを強くお勧めします。
UCC DNSクライアント	Umbrella SWGクライアントは、Umbrella DNSクライアントと共存できません。 ただし、両方のクライアントをインストールすると、追加の遅延は最

	小限になります。一部のフィルタリング機能が重複しており、レピュテーションを確認するためにDNSクライアントが追加のDNS要求を開始します。 最適なパフォーマンスを得るには、Umbrella SWGクライアントのみをインストールすることをお勧めします。
包括的な組織の移行	あるUmbrella組織から別の組織へのChromebookの移行はサポートされていません
OSサポート	UCC-SWGのChrome拡張機能は、ChromeOS上でのみ動作するように設定する必要があります。UCC-SWG拡張機能は、Mac、WindowsなどのChromeブラウザでは動作しません。 この拡張機能は、エンタープライズポリシーを使用してこれらのブラウザにインストールできますが、影響はありません。
キオスク/パブリックセッション	Chromebookは、キオスクモードまたはパブリックセッションで実行するように設定できます。UCC-SWGクライアントは、これらの導入タイプをサポートしていません。
VPN	サードパーティ製のVPNソフトウェアがChrome拡張機能の動作を妨げる可能性があります。
ネットワークの前提条件	UCC-SWGクライアントは、プロキシ通信にWebポートTCP 8888を使用します。この前提条件が満たされていない場合、このポートにはすべてのネットワークからアクセスできない可能性があり、保護は無効になります。管理者は、Google管理ダッシュボードでフェールオープン/フェールクローズの各モードを選択することで、このシナリオで何が起こるかを選択できます。
リモートブラウザの分離	Chromeブラウザは、Umbrella Remote Browser Isolation機能 (Isolateアクション) での使用がサポートされていません。RBIクライアントのChromeサポートを評価中
信頼ネットワーク検出TND	UCC-SWGクライアントは、TNDおよび仮想アプライアンスをサポートしていません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。